

春闘速報

4月16日、09春闘の第1回団体交渉が行われました。

交渉のはじめに組合は、「定着性とやりがい」「収入の安定と公平感」を基本とした要求項目を説明しました。

会社は「市況の冷え込みによる営業収入の落ち込みから労働条件の見直しは難しい。厳しい現状であるが話し合いにより解決したい」との回答にとどまりました。

組合は定着性の問題から、無駄な経費を削減し乗務員に還元するよう求めました。

経営状況を示す資料を提示するよう求め、交渉は次回に持ち越しとなりました。

組合は根気よく交渉を続け具体的中身のある回答を引き出せるように頑張ります。

宮城一般日交支部